

看護師教育 キャリアステップ計画

経験年数の目安		レベル	I	II	III	IV	V
経験年数の目安	10~						
	6~9						
	4~5						
	3						
	2						
	1						
	役割		新人	リーダー(日々)、チームメンバー、プリセプター	チームリーダー、実習指導者	管理、師長、主任、副主任	認定看護師、専門看護師、特定看護師
定義	レベル毎の定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別化看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する	
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	【レベル毎の目標】 助言を受けながらケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる 【行動目標】 □助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる □ケアの受け手や家族とコミュニケーションを図り、主観的な情報を得ることができる □得た情報からケアの受け手の基本的ニーズをとらえることができる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる □自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる □得られた情報からケアの受け手の基本的ニーズを判断することができる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる □ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる □得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる □状況に応じて、優先順位を判断することができる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる □予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる □意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる □得たニーズから、看護の必要性について判断できる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる □複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる □ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる □疾患や症状・ケアに応じた、専門的な情報を収集し、課題を抽出することができる	
	ケアする力	【レベル毎の目標】 助言を得ながら、安全な看護を実践する 【行動目標】 □指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる □指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる □看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる □医療における安全を理解でき、実践できる	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する □ケアの受け手の個性性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる □ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる □ケアの受け手の状態に合った看護診断・看護計画を立案することができる □ケアの受け手の状況に応じた援助ができる □フィジカルアセスメントに基づいた看護を実践することができる □安全や感染予防に考慮し、看護を実践することができる □リーダー・メンバーの役割を理解し、連携のとれた看護を実践できる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する □ケアの受け手の個性性に合わせて、適切なケアを実践できる □ケアの受け手の潜在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫ができる □ケアの受け手の個性性をとらえ、看護実践に反映ができる □実践した看護を評価し、看護過程(サイクル)を実践できる □看護における役割モデルとなることができる □科学的根拠に基づいた看護を実践することができる	様々な技術を選択・応用し看護を実践する □ケアの受け手の潜在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる □幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる □安全や感染について防止策を考え、指導及び実践ができる □看護における実践モデルとなることができる □科学的根拠に基づいた看護を指導することができる	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する □ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる □複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる □専門的な知識の基、個別化ケアが実践できる □専門的な知識の基、看護が舌戦できるよう、看護師・多職種へ指示・指導できる	
	協働する力	【レベル毎の目標】 関係者と情報共有ができる 【行動目標】 □助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる □助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる □助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる □ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる □連絡・報告・相談ができる □助言を受けながら基本に即した看護記録ができる □助言を受けながら多職種・他部門との連携を図ることができる	看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる □ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれ積極的に情報交換ができる □関係者と密にコミュニケーションを取ることができる □看護の展開に必要な関係者を特定できる □看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる □緊急時、指示のもと速やかに行動できる □チームナースとしての役割を理解することができる □自ら多職種・他部門との連携を図ることができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる □ケアの受け手の個別化ニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる □ケアの受け手とケアについて意見交換できる □積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる □リーダーシップを発揮し、メンバーに指示・指導できる □緊急事態を予測し、緊急時は多職種と協力して行動できる □組織の一員として自己の役割を理解し、他者へ指導できる □看護師に必要な基本的姿勢と態度を自覚し、役割モデルをとることができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる □ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる □多職種間の連携が機能するように調整できる □多職種の活力を維持・向上させる関わりができる □看護師としての模範的な姿勢と態度を自覚し、指導できる □多職種へ問題提起し、改善・解決の動機づけをすることができる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす □複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる □多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる □関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる □目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる □社会的役割向上のため、多職種との交流・連携を深めることができる □認定看護師・専門看護師と協働できる □専門的な知識の基、看護師・多職種をマネジメントすることができる	
	意思決定を支える力	【レベル毎の目標】 ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 【行動目標】 □看護師として自覚と責任のある行動がとれる □助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる □ケアや受け手の人権を尊重した行動をとることができる	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる □ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる □確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる □ケアの受け手やその家族と良好な関係を築くことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる □ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる □ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる □ケアの受け手や周囲の人々の人権や意思決定を尊重し、倫理的問題を支援することができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる □ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる □ケアの受け手や周囲の人々の人権や意思決定を尊重し、倫理的問題を解決することができる □ケアの受け手の人権を尊重し、倫理的水準を高めた看護が実践できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる □適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる □法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる □専門的な知識を提供し、意思決定を支援できる	
	看護部研修	新人研修	新人研修年間プログラム(別紙) 新人年間教育・業務プログラム(別紙) 新人ローテーション研修(別紙)				
中途採用研修		新人年間教育・業務プログラム(別紙)					
プリセプターシップ							
リーダーシップ							
実践コース							
トピックス							
病棟勉強会							
院内教育研修	接遇						
	医療安全						
	感染対策						
	救急						
	その他						
院外研修	栃木県看護協会	新人研修	研修計画段階Ⅰ・Ⅱ	研修計画段階Ⅱ・Ⅲ	研修計画段階Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
	*教育者研修				実地指導者・教育担当者・研修責任者研修		
	*管理・認定				実習指導者・災害支援ナース		
	*養成				ファーストレベル・セカンドレベル		
	TORIC					認定・専門・特定看護師	
	地域連携・退院支援						
医療・看護必要度							
FIM							
その他							

緑: 正看護師
橙: 准看護師